

## 米国パウダーショー (iPBS-international Powder & Bulk Solids 2018) に参加して

### 1. 展示会の概要

4月24 - 26日の3日間、米国シカゴで、UBM Canon社(カリフォルニア州)主催による米国粉体工業展(iPBS-international Powder & Bulk Solids)が開催された。粉体工業と医薬・包装・化学・食品製造技術の4展示会との共催で、2008年よりUBM Canon社主催として6回目となった。

### 2. 以前との比較

前回2016年の来場者数は2014年より減少し、今回もさらに少し減少した。表1に2014年からの来場者数推移を示す。(左の数字は事前登録者数で、右は実際の来場者数。出展者は含まれていない。)

	展示会場 来場者数	技術会議 参加者数	合計
2014年	6,453/?	378	6,831/?
2016年	4,968/3,420	355	5,311/3,775
2018年	?/3214	341	?/3,555

表1 2014年からの来場者数推移

2018年来場者が減った原因の一つは、同時期にフロリダで開催された、第8回WCPT(World Congress on Powder Technology)技術会議に海外の粉体技術者が参加し、シカゴの展示会に来られなかった可能性がある(現に中国・韓国の大学関係者が今回不参加)。また、展示会に参加するのをやめ(経費削減等)、ネットで情報を得る傾向が強まっていることも原因と考えられる。

### 3. 日本からの出展企業

今回、iPBS展への現地法人を含めた日本企業の出展は弊社を含め全部で20社と、直近の3回では最高となった。(表2参照)今回、弊社にて、日本企業9社の直接出展の支援を行ったが、前回同様、共通アイランドブース(合計6コマ、写真1参照)でも出展した。メインホールの真ん中の広い場所で個別の機械や技術を見せることにより集客効果を高めつつも、同時に簡素な装飾で出展コストを下げながら、米国人日本語通訳を採用して、米国人が入りやすい展示ブースを目指した。今回も、2年前同様共同ブースへの参加企業が増え6コマで足らなくなってしまい、共同ブースを2か所に分けざるを得なかった。2年前に場所を押さえる必要があるため、予約の時点でこれを予想するのは難しい。2年後の次回も6小間の共同ブース(#1446)は既に予約したが、早期に募集を開始し4~6小間程度の第2共同ブースを追加出来たらよいと考えている。

	日本からの 出展企業数	日本以外出 展企業数	合計	日本からの直 接出展社数
2014年	14	398	412	6
2016年	18	405	423	8
2018年	20	440	460	10

表2. 2014年からの出展企業推移

<20社の企業名> エクセン(株)、(株)NBCメッシュテック、大阪ガスリキッド(株)、Sugino Corp.(米国)、筒井理化学器械(株)、ミツミ技研工業(株)トリプルエーマシン(株)(以上共同ブース)、アサダメッシュ(株)、アルファーマラージュ(株)、日清エンジニアリング(株)、藤崎電機(株)以上日本から直接出展、AAAmachine, Inc. (Des Plaines, IL)、Freund Vector (Marion, IA)、Horiba Instruments Inc. (Irvine, CA)、Hosokawa Micron Powder Systems (Summit, NJ)、Kuriyama of America Inc. (Schaumburg, IL)、Readco Kurimoto LLC (York, PA)、SMC Corp. of America (Noblesville, IN)、Yamato Corp. (Mequon, WI)、Elcan Industries (株)マツボ共同出展、Tuckahoe, NY)、HaF Equipment (大川原化工機(株)共同出展、Maplewood, MN)その他、APPIEは、粉体工業展東京を紹介するブースを出展した。(山田会長、浅井海外交流委員会委員長が参加。)



写真1. 日本企業共同ブース

### 4. 展示・技術会議内容

今回も前回同様、技術会議が併設され、Tech Innovation Sessionが実施され、またCenter StageとTech Theaterでもオープンな技術発表があった。

### 5. おわりに

ネットで得られない情報を広く北米で知ってもらい、日本企業の北米でのブランディング向上と営業機会の創出を目指すために、この展示会は絶好のチャンスである。より多くの日本企業が普通にこのシカゴの展示会に出展するようになることと展示会の発展を期待するとともに、日本企業の出展を今後も支援していきたいと考えている。